

令和元年 救助統計



は じ め に

この統計は、天童市において令和元年に救助工作車等が出動した実態を分析し、今後における円滑な救助業務の推進に資するとともに、市民の理解と協力を得るために作成したものです。

目 次	ページ
救助事故等の種別・区分に使用される用語について	1
1. 事故種別出動件数	2
2. 月別出動件数	3
3. 曜日別出動件数	4
4. 時間帯別出動件数	4
5. 救助活動により救助した件数・人員	5
6. 活動により使用した資機材	5
7. 救助隊員の訓練実施状況	6
8. はしご車の訓練実施状況	7

救助事故等の種別・区分に使用される用語について

この統計の用語、分類等については、総務省消防庁の『救急事故等報告書要領』を準用しております。

1. 「**火 災**」
火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
2. 「**交通事故**」
すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
3. 「**水難事故**」
水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
4. 「**風水害等自然災害事故**」
暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害事故をいう。
5. 「**機械による事故**」
エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
6. 「**建物等による事故**」
建物、門、柵、塀等の建物に付帯する施設又はそれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
7. 「**ガス及び酸欠事故**」
一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
8. 「**破裂事故**」
火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
9. 「**その他**」
1 から 8 に掲げる以外の事故等で、消防機関による救助を必要とした事故をいう。

1 事故種別出動件数

令和元年の救助出動件数は37件で、前年と比べると4件増加となりました。

1か月の平均出動件数は、昨年と比べると増加し3.08件でした。

出動件数を事故種別ごとにみると、火災による出動が7件(18.9%)、交通事故が16件(43.2%)、建物等による事故が4件(10.8%)、その他の事故が10件(27.0%)となっています。

() 内数字は平成30年

事 故 種 別		出 動 件 数	
火 災	建 物	4	(3)
	建 物 以 外	3	(7)
交 通 事 故		16	(13)
水 難 事 故		0	(0)
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故		0	(0)
機 械 に よ る 事 故		0	(0)
建 物 等 に よ る 事 故		4	(4)
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		0	(0)
破 裂 事 故		0	(0)
そ の 他		10	(6)
合 計		37	(33)

2 月別出動件数

月別の件数をみると、12月が6件(16.2%)と最も多く、次いで5、11月が5件(13.5%)、6、9月が4件(10.8%)となっています。1件当たりの出動人員は12.0人、出動台数は3.5台となっています。

() 内数字は平成30年

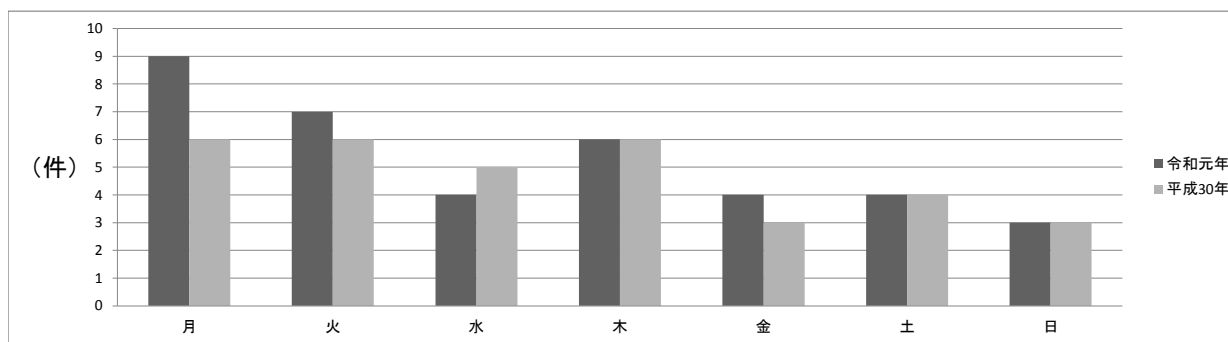
月別	出動件数	事故種別									出動人員	出動台数
		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の		
1	3 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (6)	11 (2)
2	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (20)	3 (6)
3	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (0)	8 (0)
4	2 (5)	1 (3)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (63)	7 (18)
5	5 (5)	3 (1)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	73 (64)	21 (18)
6	4 (4)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	53 (39)	16 (12)
7	2 (3)	0 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	21 (28)	6 (12)
8	3 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	36 (13)	11 (5)
9	4 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	26 (7)	8 (2)
10	0 (4)	0 (0)	0 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (32)	0 (9)
11	5 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	72 (9)	20 (3)
12	6 (6)	0 (1)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	67 (63)	18 (21)
合計	37 ###	7 (10)	16 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (6)	445 (344)	129 (108)

3 曜日別出動件数

出動件数を曜日別にみると、月曜日が9件(24.3%)と最も多く、次いで火曜日が7件(18.9%)、木曜日が6件(15.2%)、水曜日、金曜日、土曜日が4件(10.8%)、日曜日が3件(8.1%)となっています。

() 内数字は平成30年

曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
出動件数	9 (6)	7 (6)	4 (5)	6 (6)	4 (3)	4 (4)	3 (3)	37 (33)



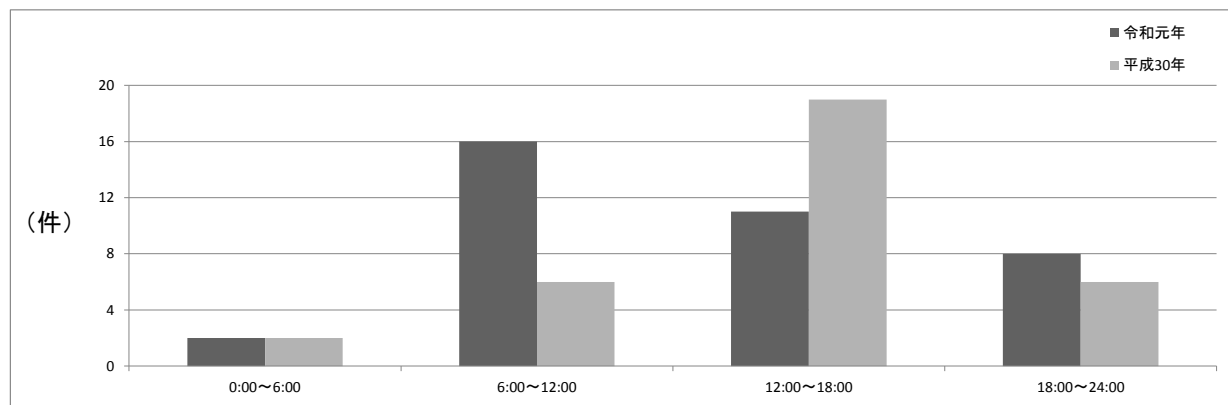
4 時間帯別出動件数

出動件数を時間帯別にみると、6時から12時までの時間帯が最も多く16件(43.2%)発生しています。次いで12時から18時までの11件(29.7%)、18時から24時までの8件(21.6%)、0時から6時までの2件(5.4%)と続きます。

日中の時間帯(6時から18時)の出動が27件と全体の8割以上を占めています。

() 内数字は平成30年

時間帯	0:00~6:00	6:00~12:00	12:00~18:00	18:00~24:00	合計
出動件数	2 (2)	16 (6)	11 (19)	8 (6)	37 (33)



5 救助活動により救助した件数・人員

出動件数37件のうち、救助活動を実施した件数は9件で全体の24.3%になります。救助した人員は9名でした。

交通事故及びその他の事故による救助人員数が最も多く3名で全体の33.3%を占めています。

()内数字は平成30年

事故種別	救助活動件数	救助人員
火災	1(0)	1(0)
交通事故	3(3)	3(3)
水難事故	0(0)	0(0)
風水害等自然災害事故	0(0)	0(0)
機械による事故	0(0)	0(0)
建物等による事故	2(3)	2(3)
ガス及び酸欠事故	0(0)	0(0)
破裂事故	0(0)	0(0)
その他	3(4)	3(4)
合計	9(10)	9(10)

6 活動により使用した資機材

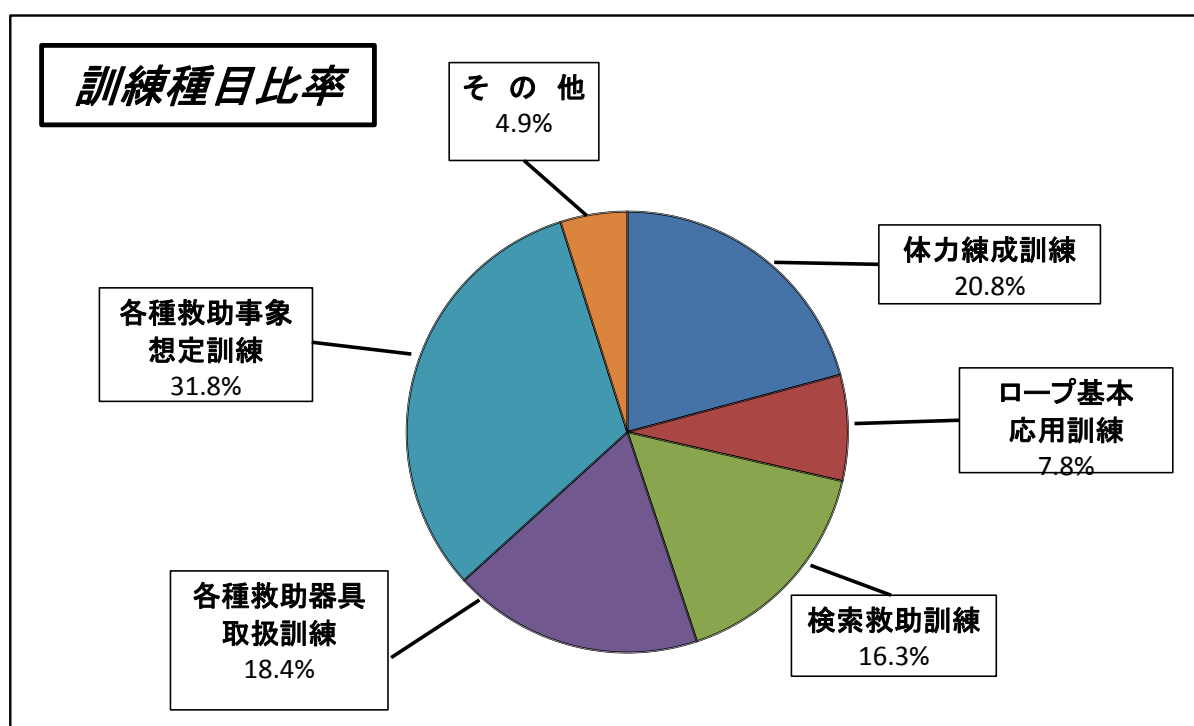
火災の出動では、三連はしごや空気呼吸器、熱画像直視装置、信号器付投光器等を使用し、また、交通事故の出動には、ステップチョックやレスキューブロック等を使用しています。

資機材	使用回数	資機材	使用回数
一般救助用		呼吸保護用	
単はしご	3	空気呼吸器	7
三連はしご	2	高度救助器具	
ロープ	1	熱画像直視装置	8
平担架	1	その他の救助器具等	
マルチスリング	1	信号器付投光器	3
重量物排除用		とび口	1
ステップチョック	5	短トビ	1
レスキューブロック	4	剣先スコップ	1
ウェッジ	2	工具	1
スタブパック	2	その他のその他	
マット式空気ジャッキ	1	車輪止め	9
枕木	1	吸着マット	2
破壊用		ライトアップコーン	2
ストライカー	1	遮蔽幕	2
グラスソー	1	立入禁止テープ	1
レスキューマン	1	布テープ	1
測定用			
マルチガス測定器	3		

7 救助隊員の訓練実施状況

救助隊員は、災害が発生した場合に安全・確実・迅速に救助活動が行えるよう、各種救助事象想定訓練を中心に様々な訓練を行っています。

区分 訓練種別	実施回数	実施人員	1回当り参加人員	実施時間
体力練成訓練	51	377	7.39	102時間
ロープ基本、応用訓練	19	118	6.21	28時間20分
検索救助訓練	40	256	6.40	66時間20分
各種救助器具取扱訓練	45	379	8.42	59時間55分
各種救助事象想定訓練	78	593	7.60	113時間55分
その他	12	89	7.42	15時間40分
合計	245	1812	7.40	386時間10分



8 はしご車の訓練実施状況

高層建物で災害が発生した場合に、はしご車を活用して安全・確実・迅速に救助活動が行えるよう、日々点検を行うとともに操作技術の向上に努めています。

区分 訓練種別	実施回数	実施人員	1回当たり 参加人員	実施時間
基本応用操作訓練	13	58	4.46	7時間55分
防火対象物架梯調査	0	0	0.00	0時間00分
月間点検	2	9	4.50	1時間20分
各種想定訓練	6	35	5.83	6時間00分
見学・展示	10	40	4.00	11時間05分
点検・その他	221	875	3.96	104時間05分
合計	252	1017	4.04	130時間25分

